

久しぶりの名古屋でのコンサート、喜びと感謝の気持ちで一杯です。
 ここ数年、演劇や朗読の舞台作品のために作曲をする機会に恵まれ、古今の文学に触発された音楽がたくさん生まれました。
 また唯一無二のアーティスト達との共演を重ねる中で、自身の表現に新たな一面が生まれたように感じています。

そんな近況の報告を音楽という形でお届けしたいと思えます。
 稲葉美和さん、西田ひろみさんと共に奏でる調べを、願王寺ご本堂の素晴らしい響きの中でお楽しみください。

作曲/笛・三味線 木村 俊介

《近年の主な活動》

- 15年1月 演劇倶楽部「座」公演『ひやめし物語・ちゃん』(塚崎彦演出)にて音楽を担当
- 5月 坂東玉三郎演出・出演 鼓童『アマテラス』(大阪松竹座)に楽曲・詞を提供
- 12月 奄美唄者の朝崎郁恵氏をゲストに「音象コンサート」を行う。
- 16年3月 鼓童・小島千絵子氏(太鼓・舞踊)、朴順雅氏(カヤグム)、小野越郎氏(津軽三味線)をゲストに自主公演「音のいる・舞のうた」(さいたま芸術劇場)を行う。
- 12月 おおたか静流氏(歌)、西田ひろみ氏、稲葉美和氏をゲストに「音象コンサート」を行う。

《木村俊介website》 <http://insho.kmlw.net>

ゲスト

ヴァイオリン 西田ひろみ

上野学園大学音楽学部卒業。
 ヴァイオリンを江藤俊哉、篠崎功子、竹内茂氏に師事。在学中、微分音グループ「シジジーズ」を結成。作曲家冷水ひとみと共にTZADIKレーベルよりCDリリース、ライブ活動、TV番組、CM等の音楽製作に携わる。スタジオワークにも多数参加。
 1995~1998年カイロに滞在し、アラブヴァイオリンをアブダギールに師事。現地のミュージシャンとも多数共演。
 2013年シジジーズの新作「otona」をリリース。2015年イタリアボローニャでの「アンジェリカフェスティバル」に参加。
 現在は邦楽器との共演も多くジャンルを超えたヴァイオリン奏者として数々の国内、海外公演に参加している。

二十絃箏 稲葉美和

4歳より生田流箏曲を学ぶ。
 CD「遠くへの雨」「あおのむこう」(コントラバスとのデュオ)、「桜の咲くころに」(箏ソロ)等。
 オリジナル曲を中心としたコンサート活動をする他、NHKスペシャル「大地の子を育てて」('05年日本賞グランプリ受賞番組)を始めとするTV、ラジオ番組等の音楽制作参加や出演、小椋佳やヤドランカのコンサートツアーに参加するなど、個性的で心地よい音づくりを追求しつつ活動中。
 邦楽器の為に作曲・編曲も多数。
 H.24年度宮城道雄記念コンクール作曲部門第一位。
<http://inaba.kmlw.net/>

2017年

5月21日(日)

午後3時30分開場
 午後4時開演

チケット予約・問合せ

〈渡辺恵子・渡辺秀男〉
 tel. 090-7860-0381
 fax. 052-9128-502
 〈木村俊介〉
 E-mail insho@sky.plala.or.jp

料金

全席自由 3,500円
 高校生以下 2,000円

※定員100名、要予約
 ご予約のない場合、入場できない場合があります。

会場

善光寺別院 願王寺本堂

名古屋市西区中小田井1-377
 名鉄犬山線中小田井駅下車、南東へ徒歩5分
 ※駐車スペースは僅かですので、なるべく公共交通をご利用下さい。

音象

いんしょう

和・洋の楽器が紡ぎ出す音の心象風景

木村俊介コンサート

